

公表します 土岐市の家計簿

平成19年度上半期(4月～9月)の財政事情

この公表は、市の財政と市が経営する水道、病院事業の状況を皆さんに理解していただくため、毎年2回行っているものです。
 ここでは、平成19年度上半期(4月～9月)の予算執行状況や、企業会計の業務状況などについてお知らせします。

一般会計

本市の歳入の根幹となる市税収入は、市民税については税制改正の影響で増収、そのほかについてはほぼ横ばいとなる見込みであり、全体としては増収が見込まれます。しかし、その代わりとして地方譲与税、地方交付税が大幅に減額されるため、歳入全体としては減収要因が大きくなっています。

また、国庫補助金の廃止や地方交付税の見直しなどが引き続き議論されており、今後の動向に注意を払っていく必要があります。
 こうした厳しい状況の中、最小の経費で最大の効果が得られるよう、適切な行財政運営に努めています。

今年度の一般会計予算は、

9月末日現在で、当初予算に前年度からの繰越事業費と2回の補正を合わせた結果、182億5336万円となっています(表 参照)。今年度上半期は、防災行政無線同報系無線設備更新事業・JR中央本線西踏切拡幅改良事業などをを行いました。

特別会計

特定の事業を行ったり、特定の収入を特定の支出に充てたりするときは、一般会計と切り離して経理を行います。これを特別会計といい、本市の場合10種類あります(表参照)。

企業会計

病院事業や水道事業などは、

それぞれ一つの会社で事業を行っているの見立て、独立して経理を行うのが一般的です。これを企業会計といいます。

市債(長期借入金)

市の収入には、市税などのほか、学校・道路・公園・下水道など、一時的に多額の支出を伴う建設事業の財源として、市債(長期借入金)があります。市債は、将来にわたって負担を残すことになりませんが、世代間の公平負担の原則を尊重しつつ、返済能力の範囲内で運用しています(表参照)。

今年度は、防災行政無線同報系無線設備更新事業・織部の里公園整備事業などで借り入れする予定です。

表① 一般会計・特別会計の収入・支出の概況

会計名	予算額	収入済額	支出済額
一般会計	182億5,336万円	90億3,102万円	58億3,853万円
特別会計			
曾木地区市有林管理	99万円	11万円	65万円
下水道事業	32億6,390万円	3億3,189万円	11億9,381万円
交通災害共済	1,750万円	813万円	689万円
国民健康保険	63億4,426万円	23億3,512万円	24億3,608万円
自動車駐車場事業	7,412万円	3,809万円	858万円
老人保健	58億1,564万円	23億1,328万円	23億6,928万円
介護保険(保険勘定)	35億2,533万円	15億0,401万円	13億6,608万円
介護保険(サービス勘定)	1,950万円	658万円	635万円
農業集落排水事業	1億1,252万円	3,391万円	1,630万円
介護認定審査会	4,592万円	2,298万円	1,750万円
障害者自立支援認定審査会	600万円	300万円	244万円

(9月末日現在)

表② 市債の内訳







債目	金額
一般会計	
教育債	39億2,776万円
土木債	18億0,745万円
衛生債	12億1,508万円
民生債	5億9,073万円
商工債	4億1,525万円
その他	74億6,714万円
特別会計	
下水道事業債	168億9,617万円
農業集落排水事業債	3億2,890万円
企業会計	
病院事業債	52億9,577万円
水道事業債	68億8,383万円
合計	448億2,808万円

(9月末日現在)

市税の負担状況

土岐市の人口を63,500人（10月末日現在）として市民一人当たりで計算すると…

市税負担額

市民税	固定資産税	都市計画税	たばこ税	軽自動車税	その他 (入湯税ほか)
					
50,712円	47,839円	7,792円	4,788円	1,683円	236円
合計 113,050円 ※収入見込み額を71億7,867万円として計算					

企業会計の状況

病院事業の業務状況

平成19年度上半期の総合病院利用者数は対前年度同期比で、入院が6,558人（13.3%）減少し、外来（居宅介護サービス含む）が10,751人（9.9%）減少しました。

《主な施設整備》

▷医療機器購入 769万円

業務の状況

病院名	区分	利用者数	1日平均利用者数
総合病院	入院	42,830人	234人
	外来	97,566人	787人
駄知診療所	外来	7,609人	61人
合計	入院	42,830人	234人
	外来	105,175人	848人

施設名	区分	利用者数	1日平均利用者数
老人保健施設 やすらぎ	入所	16,722人	91人
	通所	3,356人	23人

※入所に居宅介護サービスの入所利用含む。

経理の状況

病院名	区分	金額
総合病院	収入	29億6,363万円
	支出	32億7,269万円
	差引	△3億0,906万円
駄知診療所	収入	4,527万円
	支出	4,466万円
	差引	61万円
合計	収入	30億0,890万円
	支出	33億1,735万円
	差引	△3億0,845万円

※総合病院に老人保健施設を含む。

水道事業の業務状況

平成19年度上半期の配水量は343万m³（対前年度同期比0.30%減）、これに対する有収水量は321万m³（対前年度同期比0.37%増）となりました。有収率は93.46%で、前年度同期に比べ0.62ポイント増となりました。

《主な施設整備》

- ▷公共下水道関連工事（4件・4,395万円）
- ▷施設改良工事（4件・1,987万円）
- ▷配水管新設工事（1件・341万円）

業務の状況

区分	業務量
配水量	3,434,339m ³
有収水量	3,209,838m ³
有収率	93.46%
給水件数	22,948件
給水人口	63,354人

※有収率＝有収水量（料金となった水量）と配水量との割合

経理の状況

区分	金額
収入	7億7,030万円
支出	7億9,099万円
差引	△2,069万円